圧縮・暗号化属性解除プログラム for 秘文
Ver.1.3.0　操作マニュアル

Copyright(c) 2006-2008 Khepri, All Right Reserved.

１．はじめに

日立ソフトウェアエンジニアリング社製の秘文 AE-IC でローカルディスクを暗号化する場合、Windows2000 以上でサポートされている圧縮属性・暗号化属性のファイルが存在すると、ディスクを暗号化することができません。

このソフトは、秘文 AE-IC のインストール前に、該当する圧縮属性・暗号化属性のファイルを検索し、属性を解除するためのソフトです。

２．動作環境

・ Windows2000

・ WindowsXP(Home Edition/Professional Edition)

（Windows Vista には対応しておりません。）

３．使用準備

・特にインストールの操作は必要ありません。適当なフォルダにプログラムを格納し、実行してください。

・CD-ROM/ネットワークフォルダに配置して、実行することも可能です。レジストリの操作も行っておりませんので、実行後のクリーンアップも必要ありません。

（属性解除エラーが発生した場合、エラーログが生成されます。）

・秘文AE-ICで暗号化対象外定義ファイル(exclude.inf)・暗号化対象定義ファイル(include.inf)を定義している場合は、暗号化されていない定義ファイルを実行プログラムと同じフォルダに格納してください。定義ファイルの内容に従って、ファイルの検索を行うことが出来ます。

・秘文 AE-IC のインストールを行い、暗号化チェックでエラーが発生している場合、秘文インストーラの出力する CSV 形式のエラーファイルから対象のファイル一覧を読込む事も出来ます。

４．操作方法

１）対象ファイルの検出

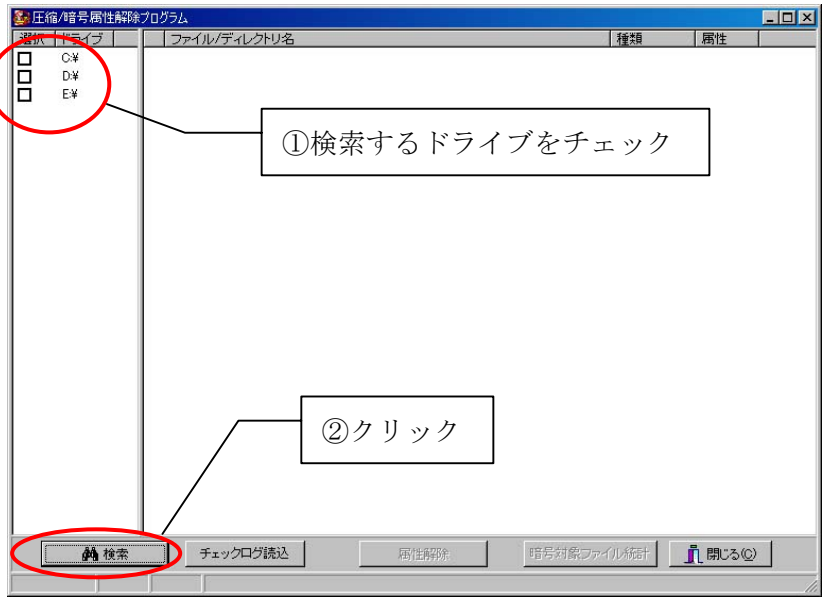
圧縮・暗号化属性解除の対象を検出する方法には下記の 2 種類があります。

A)　ローカルドライブの検索

B)　秘文インストーラの出力する暗号化チェックエラーファイルを読込む

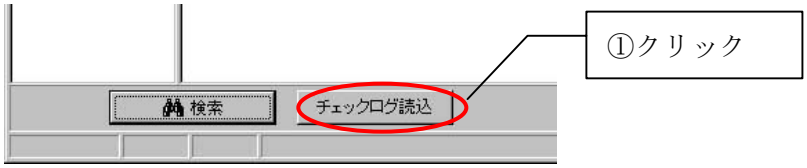
A）ローカルドライブの検索

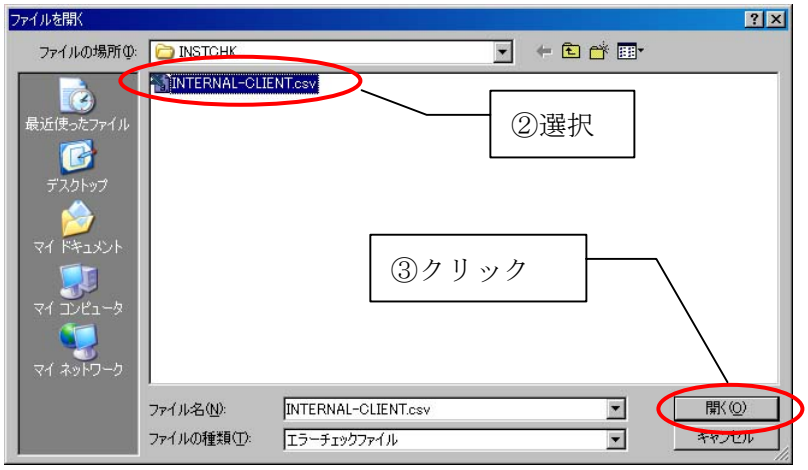
プログラムを起動し、検索するローカルドライブをチェックし、検索ボタンをクリックしてください。検索には、対象ドライブのフォルダ／ファイル数に応じて数分かかる場合があります。



B）暗号化チェックエラーファイルの読み込み

チェックログ読込ボタンをクリックし、暗号化チェックエラーファイルを選択して読込んでください。



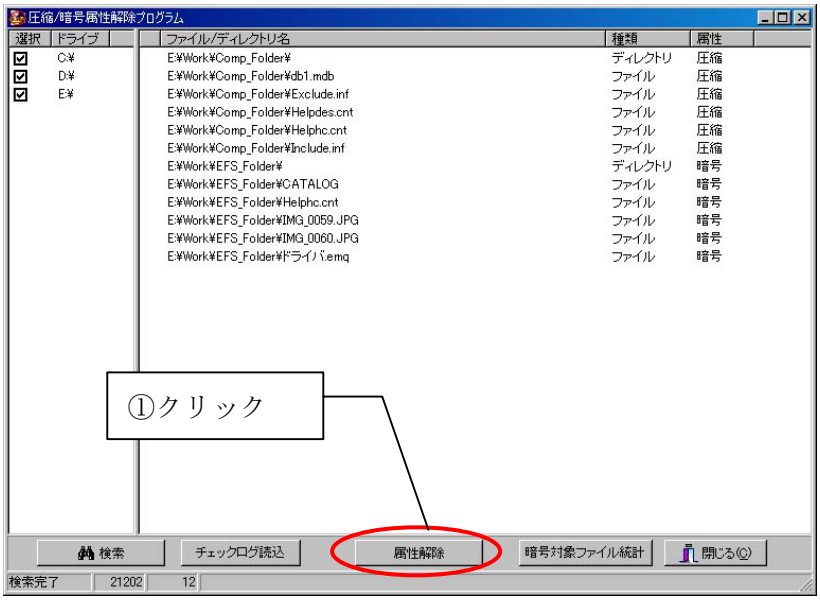


・エラーチェックファイルは通常”c:¥Windows¥HIBUN¥INSTCHK”に出力されます。

・ファイル名は不定のようですが、CSV 形式のファイル（*.csv）を選択してください。

２）属性解除処理

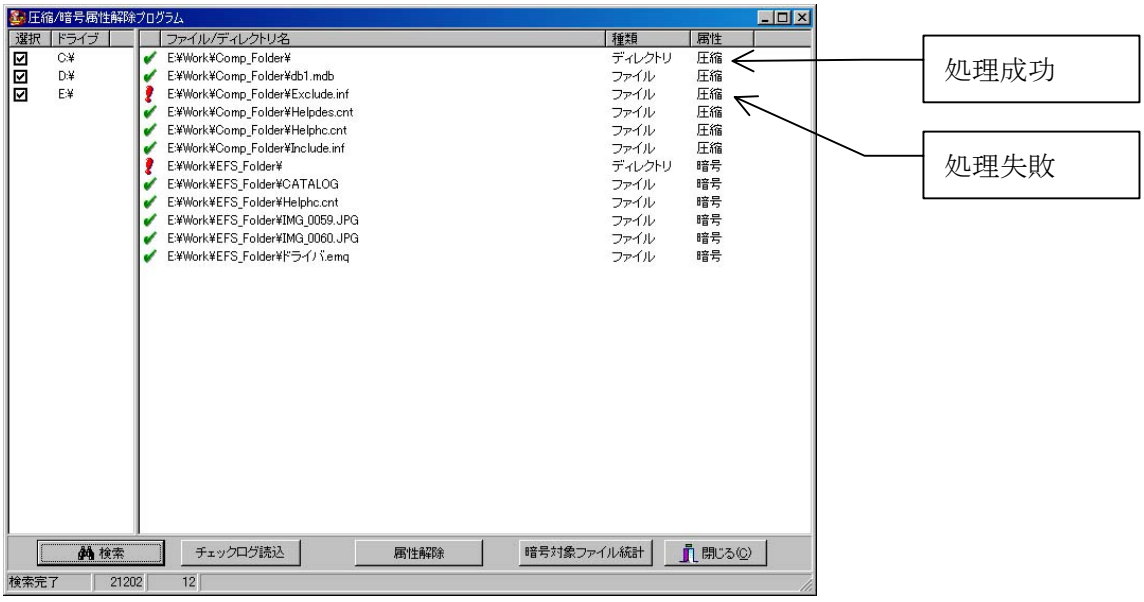
属性解除ボタンをクリックしてください。



３）属性解除処理結果

処理成功の場合は、緑のチェックマークが表示され、失敗の場合は赤の感嘆符が表示されます。処理が失敗した項目をダブルクリックすると、エラー内容が表示されます。

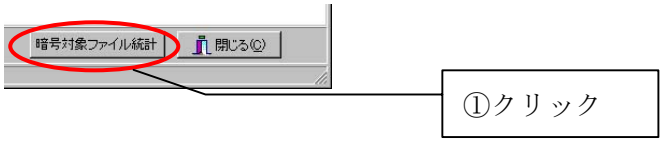
また、エラーが発生したドライブのルートディレクトリに"UnCompErrorLog.txt"というエラーログが生成されます。



- 一覧から、項目を右クリックすると、その項目のプロパティ／フォルダを表示することが出来ます。（フォルダ表示はその項目の親フォルダを開きます。）
- 属性解除処理エラー項目が残っている場合、再度属性解除ボタンをクリックすると、エラー項目のみ、属性解除処理を実行します。

４）暗号対象ファイル統計

検索処理後、暗号対象ファイル統計ボタンをクリックすると、秘文導入時に暗号化対象となるファイルの、拡張子毎のファイル数と容量の統計を表示することができます。



拡張子	ファイル数	ファイル容量(Byte)
.0	2	0
.1	4	21,973
.12	2	797,663
.20080403	4	2,052
.8	8	35,548
.a	2	1,176,666
.acl	3	10,304
.awk	2	4,014
.bak	1	15,958
.bmp	132	16,571,952
.cab	19	19,687,482
.cfg	369	4,767,198
.chm	5	356,152
.class	208	771,881
.cnt	5	18,235
.conf	39	97,577
.config	1	11,054
.css	12	45,803
.csv	3203	1,234,161,388
.ctg	1	608
.dat	775	121,313,043
.de	23	667,743

- 一覧から、右クリックすると、統計情報を CSV ファイルに出力することが出来ます。
- Include.inf 定義によっては、実際の暗号化対象より、大きい統計値となることがあります。

５．起動時オプション

プログラム起動時にコマンドラインでオプションを指定することができます。

書式： UnComp△[-a | -s]△[-f | -d*Drive*]△[-l*Logname*]△[-c*CountLog*]

-a　　：自動実行モード
　　起動後、検索・属性解除処理を自動で行います。
-s　　：サイレントモード（自動実行）
　　画面を表示することなく、自動実行します。
-f　　：全ドライブ選択
　　検索対象として、全ドライブを選択します。
-d*Drive*　　：選択ドライブ指定
　　指定したドライブを検索対象として選択します。
-l*Logname*　：エラーログファイル指定
　　属性解除処理のエラーログファイルを指定します。
　　（通常は、各ドライブのルートに"UnCompErrorLog.txt"が生成されます。）
-c*CountLog*　：暗号化対象ファイル統計を*CountLog*に出力します。

注意：

- 各オプションは、スペースを入れて個々に指定してください。
- オプションと、そのオプションに対する指定文字列（-dと*Drive*など）の間にはスペースを入れないで指定してください。
- “-a”と”-s”を両方指定した場合には、”-s”が優先されます。
- “-f”と”-d*Drive*”を両方指定した場合には、”-d*Drive*”が優先されます。ただし、”*Drive*”の指定がない場合は、”-f”が採用されます。
- 次の条件のいずれかを満たす場合は、構文エラーとなり、プログラムが終了します。
  - 自動実行(“-a”)またはサイレント(“-s”)で、“-d”,”-f”のいずれも指定されていない場合
  - 自動実行(“-a”)またはサイレント(“-s”)、“-d”に*Drive*が指定されていない場合
  - ”-l”で、*Logname*の指定がない場合
- “-l”オプションで指定した*Logname*の正当性はチェックしておりません。*Logname*にエラーログが生成できない場合は、エラーログを出力せずに処理を行います。

構文例：

- UnComp –a –f
  - 全てのドライブに対して、対象ファイルの検出と属性解除処理を自動実行します。
- UnComp –s –dcd –lc:¥Error.Log
  - C 及び D ドライブに対して、対象ファイルの検出と属性解除処理をサイレントモードで自動実行し、エラーログを”c:¥Error.Log”に出力します。

６．リターンコード

本プログラムは以下のリターンコードを返します。この値は、バッチファイルでは” ERRORLEVEL” 変数から取得することが可能です。

0：正常終了
4：構文エラー
8：処理対象ファイルなし
12：検索処理中断（自動実行時）
14：属性解除処理中断（自動実行時）
16：属性解除処理エラー

７．注意事項

- 属性解除処理はファイル操作を伴うため､処理中に障害が発生するとファイルが破壊されることがあります。処理実行前に重要ファイルをバックアップしてください。
- 圧縮属性ファイルの属性解除処理する場合、ディスク容量が不足する場合があります。対象ドライブに十分な空き容量を確保してください。
- 属性解除処理では、エクスプローラで該当フォルダを表示しているだけで、別プロセスで使用中となり処理が失敗する場合がありますので注意してください。
- 本プログラムで属性解除処理を行った場合でも、秘文 AE-IC の仕様などにより秘文 AE-IC のインストール時にエラーが発生する可能性があります。

８．制限事項

- EFS 暗号属性のファイルは、全ての EFS 暗号ファイルが検索されますが、現在のユーザ以外のユーザが暗号化したファイルは属性解除（復号）できません。
  （暗号化したユーザでログインし、検索・属性解除して下さい。）
- 対象ファイルの検索条件は、実際の秘文 AE での暗号化対象条件より、広く設定してあります。従って､秘文 AE で実際には暗号化されないファイルも対象ファイルとして検索される場合があります。
- 秘文 AE07-80 以降の Include.inf の拡張構文では､ファイル指定は無視し指定フォルダ全体を暗号化対象と扱って検索を行います。
- Exclude.inf /Include.inf のパス指定にワイルドカード(“*”,”?”)を使用した場合、使用したパス要素は大文字／小文字を区別せずに比較されます。
- エラーログファイルは、エラーが発生するたびに追記されます。
- エラーログファイルは、自動的に削除されません。

９．免責事項

- 本プログラムの使用によって生じたいかなる結果・損害についても、作者は一切の責任を負わないものとします。
- 作者は本プログラムの不具合修正・バージョンアップの義務を負わないものとします。

１０．　フリーウェアについて

本ソフトは、非商用目的での利用に限り、フリーウェアとさせていただきます。
商用利用に関しては、作者（ケプリ）までお問い合わせください。

１１．　著作権・転載

本ソフトの著作権は作者が（ケプリ）が保持しております。

非商用利用での転載は自由に行っていただいて結構です。その場合、本文書を必ず添付し、事後で結構ですので作者までご連絡願います。

商用利用（雑誌掲載等）の場合は、必ず事前に作者まで確認願います。

１２．　連絡先

作者（ケプリ）への連絡は下記メールアドレスまでお願いします。

mail: khepri@po1.dti2.ne.jp

１３．　商標

- 秘文,秘文 AE-IC は日立シフトウェアエンジニアリング(株)の登録商標です。
- Windows2000,WindowsXP は，米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp.の登録商標です。

１４．　バージョン履歴

・ 1.2.3(Build 91)　2007.12.17

1) 機能追加

・秘文 AE 07-80 より拡張された exclide.inf/Inclide.inf の構文に暫定対応しました。

[サポート内容]

・パス中の複数のワールドカード指定に対応しました。

[制限事項]

・Include.inf のファイル指定は無視され、フォルダ全体が検索対象となります。

・ワイルドカード(“*”,”?”)を使用した場合は、該当するパス要素は大文字/小文字を区別せずに比較されます。

2) バグ修正

特にありません。

・ 1.2.2(Build 69)　2007.3.24

1) 機能追加

特にありません。

2) バグ修正

・秘文の規定を含む Include／Exclude で指定したフォルダに圧縮／EFS 暗号属性が付加されていても、検索されないバグを修正しました。

・属性解除対象のフォルダ／ファイルに読み込み専用属性がついている場合、属性の解除に失敗するバグを修正しました。

・検索中／処理中ダイアログの表示を常にメインフォームの前に表示するようにしました。

・検索中／処理中にメインフォームのボタンが押せてしまうバグを修正しました。

・ 1.2.0(Build 51)　2006.11.13

1) 機能追加

・起動時オプションをサポートしました。

・自動実行・サイレント実行モードをサポートしました。

・アプリケーションのリターンコードを状況により返すようにしました。

2) バグ修正

・複数ドライブ選択時、最後のドライブしか検索結果が表示されないバグを修正しました。（1.1.0 にて発生）

・ 1.1.0(Build 33)　2006.8.2

1) 機能追加

・秘文インストーラの暗号化チェックエラーファイルの読込をサポートしました。

・項目一覧から、プロパティページ／フォルダの表示を行えるようにしました。

2) バグ修正

・ボリューム圧縮属性が解除できない不具合を修正しました。

3) その他

・操作マニュアル（この文書）を、ちょっと立派にしました。

・ 1.0.0(Build 15)　2006.7.3

新規作成

－　以上　－